

後期基本計画 令和 3年度 政策方針評価書

政 策：01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

担当部長職・氏名	市民環境部長 久保 正秋
----------	--------------

1. 政策の令和 3年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	社会情勢の間断ない変化や個人意識が多様化する中であって、市民が幸福を実感し安全・安心に暮らすためには、一人一人が地域や行政と多様なつながりを持ち、市民自らが地域づくりのために行動するまちを目指します。	
--	--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 地域活動に参加している人の割合 単位 %	50.7	53	55	58	60	60	D
			53.9	45.3	37.1	-	-	△146.2
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	64	68	71	75	75	C
			65.4	62.6	62	-	-	12.8
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 01010000 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現 地域のお祭りや行事に参加した回数 単位 回	1.61	2.5	3	3.5	4	4	D
			1.7	1	0.51	-	-	△46.0
2	幸福 01010000 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	77	78	79	80	80	D
			69.1	68.1	71.2	-	-	△63.0
3	暮らし 01020000 安全で安心できるまちづくり 災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %以上	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	D
			55.3	51.3	47.1	-	-	0.0
4	幸福 01020000 安全で安心できるまちづくり 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	D
			67.1	66.6	67.8	-	-	0.0
5	暮らし 01030000 環境に配慮するまちづくり 豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合 単位 %	76.2	77.9	79.6	81.3	83	83	B
			79.9	79.3	80.8	-	-	67.6
6	幸福 01030000 環境に配慮するまちづくり 地域清掃活動への参加者数 単位 人	18,526	19,895	21,263	22,632	24,000	24,000	D
			20,113	10,992	9,650	-	-	△162.1

後期基本計画 令和 3年度 政策方針評価書

政 策：01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

担当部長職・氏名	市民環境部長 久保 正秋
----------	--------------

2. 政策の実現に向けての令和 3年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

C	一部達成した
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の発症状況により、事務事業の一部中止や規模縮小せざるを得ない状況が続きました。感染予防対策に重点を置きながら、事務事業を次のとおり実施しました。 市民主体のまちづくり活動に、必要な情報を提供しました。 地域防災計画の継続的な見直しを図るとともに、地域防災力の強化を図りました。 環境基本計画を適正に推進しました。 住民情報を適正に管理するとともにマイナンバーカードの適正な交付を図りました。 ごみ処理等広域化推進協議会において、一部事務組合設立に向け引き続き協議を進めました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 3年度の重点課題の達成（実現）状況

C	一部達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域別計画の推進 コミュニティ施設整備の支援、ビッグルフ滝沢の適正管理のため第2期指定管理者の選定を行いました。 地域防災リーダーの育成による地域防災力の強化を図りました。 循環型社会構築への啓発や廃棄物の3R活動や適正処理に努めました。 適切で親切的窓口対応に努めました。 <p>【重点課題の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境変化や地域の事情に応じた年度活動を実施しました。 	

3. 政策の実現に向けて令和 3年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

B	取組みの一部見直しが必要
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症への対応は、基本的な感染対策の徹底に努めながら、社会経済活動との両立を図る方向に変化しています。 国が「2050年カーボンニュートラルの実現」を目指すことを宣言しており、取組みの見直しが求められています。 気候変動の影響による、大規模な自然災害が各地で発生しています。 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要な行事や研修会等が、十分な感染対策を講じながら、徐々に活動規模を戻しつつある傾向にあります。 SNSによる情報発信やウェブ会議の活用など、アフターコロナを見据え新たな生活様式を取り入れた活動も増えてきています。 県内市内での患者や検査陽性が現に発生しており、発生防止、拡大防止を念頭においた消防力、地域防災力の維持、災害避難所設置が必要です。 ビッグルフ滝沢の第2期指定期間が開始となります。 	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 5年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり活動への適切な支援が必要です。 地域防災力の維持向上が必要です。 カーボンニュートラルやごみ処理広域化の推進のため、ごみ減量の必要性の再認識、再周知が必要です。 市役所職員の育成が必要です。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ処理広域化の課題の具体化の協議が始まります。 自主防災組織の強化、連携が必要です。 ビッグルフ滝沢の第2期指定管理について、評価方法の確立と定期的に改善を図る体制づくりが必要です。 地域に応じた多様な地域づくりへの支援が必要です。 	

